

第17回 院内学会を開催いたしました

令和4年2月18日(木)当院にて院内学会の演題発表を行いました。
新型コロナ感染拡大につき無観客開催としました。6題の発表があり、スライドに音声を録音し、DVDを作成しました。審査は、院内教育委員長の相田直隆院長先生が行い、最優秀演題には3西病棟 山下美貴子さんが発表された「新型コロナウイルス感染症対応病棟への準備と看護の実際」が選ばれました。また、優秀演題には、研修医 戸田先生と総務課の三羽李奈さんが選ばれました。



「MRI造影剤によって生じた
ARDSの一例」
研修医 戸田裕一



「新型コロナウイルス
感染症対応病棟への
準備と看護の実際」
3西病棟 山下美貴子



「QC活動
朝の早番の改革」
総務課 三羽李奈



「胸痛で来院し診断に苦慮した
若年男性の一例」
研修医 山本有記



「B病棟におけるジョンセンら
の4分割法を用いた
胃管カテーテル留置患者の
身体抑制防止への取り組み」
3東病棟 濱口 環



「がんのリハビリテーション
始めました」
作業療法士 水本智也

当学会は研究意欲の高い職員に発表の場を提供することで、臨床研究の活性化を図ると共に職種間の業務の理解度、並びに医療・看護の質を向上させることを目的に、年に1度開催しております。今後もこのような研究活動を通じてレベルアップを図ってまいります。

院内教育企画委員会 委員長 相田直隆